

音楽科の1年

- 4月** 入学式
始業式
- 5月** 遠足(1、3年)楽器博物館見学
修学旅行(2年)山陽・山陰方面
- 6月** 定期考査
公開レッスン
専攻実技試験(サマーコンサートオーディション)
- 7月** 10日(土) サマーコンサート(三井住友海上しらかわホール)
18日(日) 音楽科説明会(ウィルあいち)
- 8月** 夏季特別レッスン
- 9月** 学校祭
美術展鑑賞
定期考査
- 10月** 21日(木) SSH記念講演会
公開講座
- 11月** 16日(火) 定期演奏会公開オーディション(ウィルあいち)
定期考査~12月
- 12月** 15日(水) 第70回記念定期演奏会(愛知県芸術劇場コンサートホール)
- 1月** 25日(火) 3年公開専攻実技試験(三井住友海上しらかわホール)
- 2月** 4日(金) 2年公開専攻実技試験(電気文化会館 ザ・コンサートホール)
1年専攻実技試験(校内)
定期考査
- 3月** 1日(火) 卒業式
終業式

コンクール実績

- 第70回 全日本学生音楽コンクール
フルート部門 高校の部 第1位および横浜市市民賞 齋藤 華香
- 第71回 全日本学生音楽コンクール
ピアノ部門 高校の部 第1位および横浜市市民賞 亀井 聖矢
- 第72回 全日本学生音楽コンクール
声楽部門 高校の部 第1位 前田ひより
- 第73回 全日本学生音楽コンクール
ヴァイオリン部門 高校の部 第2位 福場 桜子 他多数



70th ANNIVERSARY PROJECT

愛知県立
明和高等学校音楽科

音楽科案内 2021



愛知県立 明和高等学校

〒461-0011 名古屋市東区白壁二丁目32番6号
TEL: 052-961-2551 FAX: 052-953-6348
ホームページ <http://www.meiwa-h.aichi-c.ed.jp/>
e-mail ongakuka@meiwa-h.aichi-c.ed.jp



- 名鉄・瀬戸線「東大手」駅行・市役所方面出口から東へ徒歩約1分
- 名古屋市営地下鉄・名城線「市役所」1番出口から東へ徒歩約5分
- 名古屋市営バス「市役所」、「清水口」または「明和高校前」下車

すべては未来に響く感性のために

昭和23年の学制改革により愛知県立明倫高等学校と愛知県立第一女子高等学校が統合され、愛知県立明和高等学校となりました。その2年後の昭和25年、音楽科が新設され、県立で唯一音楽科のある高校となりました。



音楽科主任 谷津 理恵子

新たな音楽科の旅立ちに寄せて

春、校庭から漂う花の香りに包まれ、新学期がスタートします。始まってすぐにも関わらずドキキははらのうちに「わくわくコンサート」が行われます。夏、気持ちは「専攻実技試験」や「サマーコンサート」に向けてグッと高まります。秋を迎え、本校では「定期演奏会」に向けて、より一層熱気にあふれます。冬は風邪と闘いながら「公開専攻実技試験」を経験します。仲間とともにアンサンブルをしたり、音楽を語り合ったり、日々の練習で行き詰まり涙を流しながら、時を重ね皆さんはだんだん明和高校の音楽科色に染まっていくのです。音楽科は昨年、創立70周年を迎えました。この大きな節目に関わる皆さんは、とても幸運だと思います。明和高校音楽科の先輩たちによって築かれた伝統を絶やすことなく、新たな歴史を刻んでいってください。この70周年メモリアルイヤーを、更なる未来へと続く「始まりの年」にしましょう。

卒業生からのメッセージ「音楽科創立70周年に寄せて」



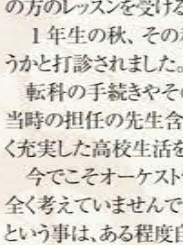
亀居 優斗

東京藝術大学卒業
東京佼成ウインドオーケストラ
クラリネット奏者



竹本 規矩也

東京藝術大学卒業
九州交響楽団コントラバス
奏者



中川 真耶加

東京音楽大学卒業
ピアニスト

音楽家になりたい。そんな志を持っている人には明和高等学校音楽科はとても充実した空間でしょう。経験豊富な先生方、充実したカリキュラムや練習環境…音楽科での学びの素晴らしさはたくさんありますが、私が一つ良かったと思うことをあげるならば、それは音楽家を目指す「同志」に出会えたことです。管楽器専攻だと一般高校や吹奏楽部が盛んな高校に通い、音大に進学する人もたくさんいますが、明和高等学校音楽科ではピアノや弦楽器、声楽といった他の学校では出会うことのできない沢山の個性溢れる同志に出会うことができます。そんな彼らと3年間、切磋琢磨しあえたことで私は一人では知ることのできなかった世界を知り、経験し、学ぶことができたかけがえのない3年間となり、今にも生きる大きな糧となりました。そしてそこで生まれた友情は生涯消えることのない大切な絆となるでしょう。音楽科での学校生活はこれから始まる音楽家人生の大事な一歩に繋がることと思います。貴方も明和高等学校音楽科で音楽を奏でてみませんか？

まずはじめに、創立70周年誠におめでとうございます。そしてこの記念すべき年の「音楽科案内」に載せていただく事をとても嬉しく思います。

卒業してもう15年…今思い返すと、もし明和高校音楽科で先生方と出会わなかったら、私の人生は全く違うものだったと思います。

私はピアノ専攻で入学しました。明和高校音楽科ではソルフェージュや和声、音楽史など普通科目以外の専門的な授業があり、あと自分の専攻以外の楽器を選択し3年間レッスンを受ける「副科」というものがあります。

私は中学校時代、吹奏楽部に所属しコントラバスを弾いていたので、特に考える事もなく同じ楽器を選択したのですが、毎週のレッスンが待ち遠しかったのを覚えています。なぜなら、それまで専攻のピアノでしかレッスンを受けた事はありませんでしたし、専門以外の楽器ではほぼ初心者の方がプロの方のレッスンを受ける事が出来るのは刺激的でとても楽しかったからです。

1年生の秋、その私を見ていた先生方から突然コントラバスに転科したらどうかと打診されました。当時相当楽しそうに弾いていたんだなと思います。笑。転科の手続きやその後の勉強、大学受験の準備などとても大変でしたが、当時の担任の先生含め多くの先生方の支えがあり、あっという間で楽しく充実した高校生活を送ることが出来ました。

今こそオーケストラに在籍していますが、高校入学当初はそういう将来は全く考えていませんでした。そう考えると音楽科の高校を受験する、入学するという事は、ある程度自分の将来を決めてしまう事かもしれません。

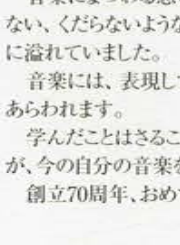
しかしその3年間、音楽の専門的な授業を受けることが出来まし、その姿を音楽家の先輩である先生方が注意深くずっと見て下さっている。

そして何よりも、どこかで自分にとって「とても楽しいもの」が見つけれられるかもしれない。そう思うと、とてもワクワクしませんか？



北村 朋幹

ベルリン芸術大学卒業
ピアニスト



中川 真耶加

東京音楽大学卒業
ピアニスト

どのような場所で過ごしたとしても、高校時代の3年間というのは人生に於いても最も重要な時期の1つでしょうし、そこで経験した全てのことはその後本格的にはじまる「独立した1人の人間」としての生活やその思考を、かなり直接的に作るような気がします。音楽家というのはかなり特殊な人種で、仕事は基本的に一人きりでかなりの長時間、そこで向き合っているものは、何世紀も前にどこか遠い国の誰かが、個人的な感情を託して書き留めた記号の数々。確かに自分は世の中に存在しているはずだけれども、常にどこか違う世界に生きているようだと感じる事が多々あります。

いつの間にか卒業から10年も経った今、自分の明和高校音楽科での3年間を振り返ってみると、その特殊な人々が当たり前の世界の住人となる直前に、その言葉の最良の意味で「普通の」生活を送ることの出来た最後の良い時間でした。

音楽にまつわる思い出はその後の人生でも数多くありますが、なんてことのない、くだらないような、しかしふとした瞬間に真っ先に思い出するような出来事に溢れていました。

音楽には、表現している本人ですら気が付かないような、その人の本質があらわれます。

学んだことはさることながら、あの毎日の中で感じていた些細なあらゆる事が、今の自分の音楽をきくと彩ってくれているのだと思います。

創立70周年、おめでとうございます。

まずは、音楽科創立70周年おめでとうございます。朝練から始まる高校生活を送っていたのがもう10年も前。今この文章を書く私は、その当時の想像を超える時の波に背中を押されているように感じます。

何と言っても素晴らしい先生方が揃っているのは明和高校音楽科の魅力で、その温かく学生思いの先生方は、家族のように何でも相談できる存在でした。1学年40人程の少人数であればこそその密なコミュニケーションと、一人ひとりの個性を引き出す指導により、私たちはのびのびと生活できていたと思います。また、生徒ではなく同じ演奏家として接して下さることで、音楽と向き合う姿勢、厳しさ、そして楽しさをも見て学びました。

共に切磋琢磨し、励ましあふつかりあい、時にはふざけ、何度か叱られた個性豊かな友達もとても特別で、今でもかけがえのない存在です。

卒業後も、音楽と向き合い、心が何度も折れかけました。そんな時、大好きな仲間たちと語り合った日々、先生方の音楽に心から感動した瞬間、それらを思い出してはまた前を向いて歩きだしてきました。長い音楽人生で3年間はあっという間ですが、その大事な思い出は一生私の心の中で輝いていくでしょう。

コンサート

毎年7月にサマーコンサート、12月に定期演奏会を行います。いずれの演奏会も、校内のオーディションによって選ばれた生徒が出演しますが、サマーコンサートはソロを主体、定期演奏会は、ソロに加え、アンサンブル、音楽科全員が出演する合唱・合奏があります。

●本年度のコンサート

子どものためのわくわくコンサート2021 シリーズ6(校内での収録予定)
※愛知県立明和高等学校音楽科 Youtube チャンネル(QRコード)にて
シリーズ5(2020)を配信中

第14回サマーコンサート(要整理券)
7月10日(土) 13:30開演
三井住友海上しらかわホール

第70回記念定期演奏会(要整理券)
12月15日(水) 時間未定
愛知県芸術劇場コンサートホール

入場整理券
お申込方法
詳細は、
本校ホームページを
ご覧ください。



公開講座

国内外から、一流の演奏家、音楽教育者を招いて公開レッスン、演奏を行います。国際レベルの演奏が校内で聴けたり、レッスンを受けるチャンスもあります。また近年は、校外のオペラ、バレエ、能楽等の公演にも出かけています。

●レッスン

ピアノ…水本 雄三、神西 敦子、A. コックス、井内 澄子、橋本 英二、A.P. ロジェ、弘中 孝、松浦 豊明、ボト・レヘル、北住 淳、M. クリストフ、J.E. テイボーデ、R.M. ボーケン、J.M. ルイスダ、K. カウフマン、A. ヤンシン、D. ヨッフエ、K. ドラファイ、R. ケラー、イムレ・ローマン、神谷 郁代、アンナ・マリコヴァ、ブルーノ・リグット、カルロス・ロドリゲス、中井恒仁、M. ヴォスクレセンスキー、エリック・ル・サージュ、菊池 裕介、海老 彰子、横山 幸雄
声楽…東 敦子、林 ひろみ
フルート…カトリヌ・カンタン
邦楽講座…大久保 智子、渡辺 峨山(箏・三味線・尺八)
オルガン講座…椎名 雄一郎
文楽講座…竹本 三輪大夫、竹澤 団吾
アンサンブル・伴奏法…三ツ石 潤司
音楽家の為の運動療法…イザベル・カンピオン
ソルフェージュ講座…マルク・ケネル
交流会…オルフェウス室内管弦楽団

令和2年度

ピアノ公開レッスン
田村 響
錦秋御園座歌舞伎鑑賞
「鐘ヶ岬」、「連獅子」
ミニコンサート
酒井 茜



専攻実技試験

専攻実技試験は年に2回あり、2・3年の後期試験は広いホールでの演奏体験を増やすために、校外のホールを借りて行います。

●演奏

ピアノ…H.G. ミルヴィス、井上 二葉、D. ヨッフエ、T. ハザイ
ピアノデュオ…テュンデ・クルツ、イムレ・ローマン
ヴァイオリン…M. ヴァイマン、V. フェデチュク
チェンバロ…佐久間 緑
クラリネット…武田 忠善
打楽器アンサンブル…小田もゆると仲間たち
声楽…E.M. ハザイ(ソプラノ)、望月 哲也(テノール)
バロックダンス…浜中 康子
能…「小鍛冶」「葵の上」喜多流/長田 駿(名古屋能楽堂)
雅楽…天王寺楽所雅亮会(愛知芸術文化センター)
文楽…冥途の飛脚、菅原伝授手習鑑 他(名古屋芸創センター)
オペラ…「セヴィリアの理髪師」「魔笛」「トスカ」「ラ・ボエーム」
「トゥーランドット」(愛知芸術文化センター)
「リゴレット」(愛知芸術文化センター)
バレエ…「ル・パルク」(愛知芸術文化センター)
歌舞伎…「仮名手本忠臣蔵」(御園座)
オペレッタ…「こうもり」(愛知芸術文化センター)
文化庁助成 邦楽(長唄)鑑賞講座…福原 寛、味見 純 他
バロックアンサンブル…長瀬 正典(リコーダー)、
桐山 建志(バロックヴァイオリン) 他
能楽体験および鑑賞…能「葵の上」、
狂言「仏師」(名古屋能楽堂)

教育課程表(令和3年度入学生)

学年	普通科目										専門科目							特別活動
	国語総合 4	地理A 2	数学I 3	体育 2	保健 1	コミュニケーション 英語I 4	家庭 基礎 2	楽典 2	音楽史 1	ソルフェージュ 4	専攻実技 1	必修副科 1	選択副科 1	合唱奏 2	総合的な探求の時間 HR1			
1年次																		
2年次	現代文B 2	古典B 2	世界史A 2	科学と人間生活 2	体育 3	保健 1	コミュニケーション 英語II 4	和声法 2	音楽史 1	演奏研究 1	ソルフェージュ 4	専攻実技 1	必修副科 1	選択副科 1	合唱奏 2	重唱・重奏 1		
3年次	現代文B 2	古典B 2	現代社会 2	物理基礎 2	体育 2	コミュニケーション 英語III 3	英語表現I 2	情報の科学 2	音楽理論 1	音楽史 1	演奏研究 1	ソルフェージュ 4	専攻実技 1	必修副科 1	選択副科 1	合唱奏 2	重唱・重奏 1	

- 表の数字は単位数で1単位とは週1時間の授業です。
- 「大学入学共通テスト」にも対応できるように一般教科の授業も充実しています。
- カリキュラムは若干の変更を行うことがあります。
- 副科実技は必修副科(ピアノ専攻の人は声楽、それ以外の専攻の人はピアノを履修)と選択副科(専攻以外の管弦打楽器や、ドイツ語、フランス語、イタリア語から各自で選択履修)が1単位ずつです。
- ソルフェージュは視唱奏、聴音ともグレード別授業です。

音楽科授業科目、公開講座について ~生徒からのメッセージ(令和2年度生)~

▶専攻実技レッスン

専攻試験直前のレッスンでの事。私はベートーヴェンの悲しみや苦悩を表現できず、悩んでいました。その時、先生が「苦悩をここで爆発させて!」と、丁寧に音で表現して下さい、様々な言葉も使って教えて下さいました。そこで今まで悩んでいたその感情を音にのせると、不思議と思い描いた音を掴むことができました。私の先生は、音のイメージをわかりやすい言葉にして下さり、私もそれを音に出せた時の喜びは、大きく、幸せな気分になります。幸せな環境に感謝しこれからも自分の求める音を求めて、練習とレッスンに取り組もうと思います。(3年/ピアノ専攻)

「その音で君は何を伝えたいの?」専攻のレッスンで、先生と交わす会話の一つです。楽器と向き合い、コミュニケーションしながら音楽の理解を深めていくこの時間は、私にとって、とても大切な空間です。伝えたい思いを楽器で上手く表現できないとき、曲、フレーズの捉え方に迷ったとき、そんなとき先生は私の考えを尊重しながらも、道が開けるような言葉を下さいます。その言葉が糧となり、私の視野が日々広がっていくのを感じています。(3年/オーボエ専攻)

音楽科のほとんどの人が、レッスンの日を1週間の頂点にあてて生活しています。1回に50分という少ない時間をいかに大切な時間にするか。1回のレッスンでどれだけのことを学ぶことができるのか。1週間で1番集中力を使う時間です。先生は、難しいフレーズなどを細かい技術のことまで教えてくださいました。また、レッスンごとに新しいエチュードが課題になるので、1週間後のレッスンに向けて意味のある練習をし、1週間という短い期間で譜読みの能力が身につきます。高校生活3年間で6回の試験に向けて、たくさんの技術や表現力を身につけることができます。(2年/チェロ専攻)

声楽の専攻のレッスンでは基本の発声法から苦手な部分の練習の方法、より良い表現の方法など様々なことを自分のベースに合わせて丁寧に教えて下さいます。毎回新しい発見や課題が見つかり、やるべきことがはっきりするので普段の練習も今までより効率的にやれるようになったと感じます。専攻のレッスンを通して技術だけではなく、楽曲に対していろんな感じ方や考え方を増やすことが出来て、より歌を歌うことが好きになりました。(2年/声楽専攻)

専攻レッスンは、言わずもがな、音楽科に通う上で1番大切な時間です。レッスン時間は50分と短いですが、その中でたくさんのことを学べるよう励んでいます。先生は、優しく、熱く、時に厳しく、私を正しい方

向に導いてくださいます。美しく素晴らしい先生の音楽は、私の最大の憧れです。そんなレッスンを通じて、見つけたこと、感じたこと、数え切れないほどたくさんあります。そして、そんな小さな発見の喜びが私の心を支えています。喜び、悩み、悲しみ、色々なことを分かち合える友に出会えたこと。明和に入ってよかったです。(1年/ピアノ専攻)

▶音楽理論(楽典・和声・対位法)

明和高校音楽科では音楽理論を、1年生は楽典、2年生は和声、3年生は対位法と分けて履修します。楽典の授業では、音階や和音といった音楽の基礎的な知識を学びます。音楽家を志す私たちにとって、最も大切な授業です。和声や対位法の授業では、自分たちの音楽をより豊かにするための知識について、和音や、旋律の観点から深く掘り下げて考える授業が展開されています。先生方は優しく丁寧に教えて下さるので、過去に音楽理論を学んだことのない生徒でも楽しく知識を身につけることができます。(3年/ピアノ専攻)

▶ソルフェージュ(視唱奏・聴音)

ソルフェージュの授業では、新曲視唱や視奏、聴音を行います。聴く力や感じる力、音感やリズム感、楽譜を理解して読む力など、すべての音楽に共通して役立つ基礎を学ぶことができます。また定期テストによってクラス分けされるので、自分自身の成長をより感じることができます。共に音楽を志す仲間と学び、基礎能力を高めることができる点は音楽科の魅力です。(3年/ピアノ専攻)

▶重唱奏

重奏の授業では、相手と話し合いながら音楽を作り上げていきます。その中で、1人では気付けなかったことに、気づき学んでいくことは、自分の専攻実技にとって貴重な経験になっています。ソロで演奏することが多い中で、重奏に取り組む時間は新鮮で楽しく、音楽の喜びを共有できた時はとても幸せな気持ちになります!(3年/ピアノ専攻)

▶演奏研究

演奏研究の授業では、即興演奏など、普段学ぶ機会の少ない様々な内容の授業を通して、音楽から自分自身を探索することが出来ます。正解の譜面が無い即興演奏に、最初は緊張して身構えてしまいましたが「まずは一音から良い」と丁寧に指導して下さったおかげで、不安はあっという間に薄れていきました。たとえ一音でも奏でた音は全

て、他の誰でもない私自身の表現になる。納得のいく歌い方ができず歯痒い事もありましたが、そう思う時こそ、自分がどういう点でそう感じたのかを考えることで、自分が表現したい理想の音楽、ひいては理想の自分を、探究していく一歩になったように感じます。「音楽をする」という楽しみをダイレクトに味わうことが出来る、とてもワクワクする授業です。(3年/フルート専攻)

▶合唱

合唱では、主に定期演奏会に向けてピアノ専攻と声楽専攻の総勢約80名が心を1つにして歌います。私が1年生の時、先輩方の歌声の素晴らしさに感動し圧倒され、この中で歌うことが出来るという事、憧れだった定期演奏会の舞台上に立てるといふ事に幸を感じました。1人で歌うだけでは味わえない、音楽が大好きな仲間一人ひとりの歌声が合わさった時の美しいハーモニーは合唱でしか創り上げることはできません。また、クラシック音楽の原点とも言える合唱を学ぶことは、ピアノ専攻の人にとっても、とても素晴らしい経験になります。音楽を分かり合える大切な仲間と共に、定期演奏会で歌い切った時のあの感動は忘れられません。(3年/声楽専攻)

▶合奏

合奏の魅力と言ったらやはり、違う楽器で多くの人とアンサンブルできることにありますが、演奏する曲をみんなと勉強し、理解し、演奏する。そして、他人の演奏の良いところを吸収して、自分に生かすことができることも合奏の魅力ではないでしょうか。管楽合奏だけでなくオーケストラの授業もあります。弦楽器と演奏できることはとても勉強になり、良い経験になります。授業は週2時間しかありませんが、自分が成長出来る場だと思います。(3年/クラリネット専攻)

▶音楽史

バッハやモーツァルトなど昔の作曲家達は、今は生きていません。直接話しを聞くことはできませんが、楽譜を通して、感性や考え方を読み取ることや共有することはできます。そう考えると音楽史って、とてもワクワクしませんか? 時代背景や作曲家の生き方、考え方、育った環境、ちょっと知るだけで、新しい発見があります。また、西洋音楽史はキリスト教と深く結びついていると言われます。宗教についても調べたり、深入りするときがありません! 音楽史の勉強はもっと知りたいという気持ちと楽しむ事が第一だと思います。それと同時に私たちの今も、この先も音楽史の一部になる、という誇りも感じます。皆さんも音楽史の授業を楽しみにしてください!(3年/サクソフォン専攻)

▶必修副科(声楽・ピアノ)

- 声楽…「歌うこと」は、ピアノを弾く中でも、よく求められることです。ピアノ専攻の生徒は、必修副科として声楽のレッスンを履修します。1人の先生に2、3人の生徒がついて、レッスンを受けます。初めはCONCONEから始まり、イタリア歌曲集、日本歌曲…など、様々な声楽作品を通じて、「歌」を学んでいきます。複数人でのレッスンは、和気あいあいとして、とても楽しいです。発声の仕方、一つのフレーズの一貫とした捉え方、ブレスの仕方、またそのブレスが次のフレーズに与える影響…と、はじめ考えながら歌っているうちは、慣れない感触を覚えましたが、それは、ピアノを弾くときの様々な要素と直に繋がっていることに、だんだん気づいていきます。自分の中でほんやりとしか考えられなかった「歌」を、自ら音を発することで学ぶのは、とても大切なことだと思います。(3年/ピアノ専攻)
- ピアノ…副科ピアノは、ピアノ専攻以外の生徒が全員履修する科目です。グレードが10段階に分かれていて、曲の難易度が変わってきます。副科ピアノのレッスンは週に1回25分と限られていますが、専攻とは違った角度から音楽について考えることができ、とても大切な時間となっています。ピアノは管楽器と違い、一人で全ての声部を演奏しなくてはなりません。なので、和音の効果や調の雰囲気などはピアノを練習しているとよくわかります。私はこの副科ピアノを通して、横の流れだけではなく、縦の響きも意識できるようになりました。副科ピアノを学ぶことで、専攻実技の表現の幅を広げることができます。(2年/オーボエ専攻)

▶選択副科(管弦打楽器・和楽器・チェンバロ・作曲・言語音声トレーニング)

- チェンバロ…チェンバロという楽器は、日常では目にすることが少ないと思います。弦をはじくことで音を出すので、鍵盤の感触はピアノとは全然ちがいます。また、自分で強弱をつけることが出来ないの、ひとつひとつの音の長さや休符などが曲づくりにおいてとても重要な要素になります。チェンバロを演奏することは音楽人生においてもとても貴重な経験になると同時に、専攻とは違う角度で、様々なことを学べます。チェンバロを履修して良かったと思っています。(3年/ピアノ専攻)
- ヴァイオリン…私はずっとヴァイオリンを弾いてみたかったので選択しました。初めは音程をとるのが難しくて大変でしたが、ヴァイオリンは自分で音を作って弾くのでヴァイオリンを通して専攻にも活かすことができました。また、合奏にも参加させて頂くことが出来、貴重な経験をすることができました。(3年/フルート専攻)
- フルート…私は中学生の頃から部活動でフルートを吹いていたので、高校でもフルートを吹けると知った時はとても嬉しかったです。毎週専門の先生に本格的なことを教えてもらえてとても楽しいです。また、先生や友達とアンサンブルをしたりすることで様々な角度から音楽に触れることができます。管楽器に触れることで、私はピアノの演奏の中で呼吸ができるようになりました。フルートに携わることは良い経験になると思います。(3年/ピアノ専攻)
- 作曲…作曲に対して、大変そう、と思ったり、難しいな、と感じる方はいるかもしれません。でも違うのです。作曲は「自由」なんです! 音に想いをのせたり、想いに音をのせたり、自分の中にある感性で一から音楽を作りあげることができます。そしてその曲は、世界にたった一つしかないのです。作曲の授業では、和声や即興について学びます。私達が普段弾いている既存の曲でも、こうした和声進行などがたくさん使われています。作曲を勉強することによって、ただ楽譜を見るだけでなく、和音の使われ方、流れがもっと美しく鮮明に聴こえてきます。自由に音楽を奏でることができて、もっと深い音楽を感じることができる。曲を作ることはとても楽しいことだと、私は思います。だからみんな、作ろう! 曲を!(3年/ピアノ専攻)
- 和楽器(箏)…私は、以前から挑戦してみたいと思っていた箏を選択しました。調弦、姿勢、譜面…あらゆるものが私に今まで勉強してきたクラシック音楽とは異なり、新しい発見が毎回のレッスンで見つかり面白いです。先生は基礎から丁寧に指導くださり、暖かく見守って下さいます。同じ箏を選択している仲間とアンサンブルをしたり、ここが難しいなどたわいもない話をしたりする時間も好きです。初心者の中でも、ふとした時に箏の音色や日本音楽の持つ美しさを感じることで嬉しく思います。日本の伝統音楽を学ぶことでさらに音楽の知識の幅が広がると、とても良い経験になっています。(3年/ピアノ専攻)
- 言語音声トレーニング…イタリア語やドイツ語は、IとIIがあり最大2年間勉強することができます。授業では挨拶や数字、日常で使う簡単な会話を実際に先生や友達と話したり文章を作って書いたりして覚えていきます。私は専攻する声楽で役に立つかなと思い副科として選択し、勉強していくうちに文章として理解ができる歌詞も増え曲に対する理解が深まりました。またそれだけでなく、先生や友達とイタリア語やドイツ語で会話をしたり、先生からその国の話を聞くことがとても楽しくて、国自身にも興味を持つようになり視野が広がったような気がします。(3年/声楽専攻)

年に数回行われる公開レッスンでは外部の先生を招いて行うレッスンです。生徒のみんなが見ている中でレッスンの緊張感があり集中してレッスンを受けることができます。また、普段の練習では気づかなかった欠点を指摘して下さり、先生独自の奏法、腕の使い方などさまざまな事を学ぶことができました。レッスンを受ける生徒以外にも見ている生徒が質問したり、受けている生徒だけではなく全ての生徒のためにとても良い機会です。(3年/ピアノ専攻)

▶公開講座

昨年度は、海外で活躍されている方が明和高校にいらして、現代音楽を演奏して下さいました。地面に這って奇声を上げたり、目を高速で動かしたりして、全身で音楽を表現されていました。私は初めて現代音楽に出会い、強い衝撃を受けると共に、一瞬にして人間の声の可能性を知り、みるみるうちに惹かれていきました。学校での講座の後、愛知県内でも演奏会を開かれると聞き、足を運ばざるにはいられませんでした。演奏やその時に感じたことは、今でも鮮明に覚えています。公開講座は、専門の知識を深められるだけでなく、新しいものに会うきっかけにもなる貴重な時間です。(3年/声楽専攻)

音楽科説明会

ウィルあいちにて音楽科の教育方針、学習の実際、入試の概要について説明します。同日、音楽棟の見学も可能です。

令和3年度は7月18日(日) 詳細は説明会チラシ、またはホームページをご覧ください。

入試について ~29年度から入試制度が変わりました~

出願資格と手続

1. 中学校を卒業した者、及び令和4年3月中学校卒業見込の者。
2. 原則として保護者とともに県内に住所を有する者。
3. 令和4年度出願手続は、愛知県教育委員会から発表される、令和4年度「愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」を参照し、さらに本校の発行する、令和4年度「明和高等学校音楽科特別選抜実施要項」を取り寄せて内容を熟読すること。(例年11月下旬~12月初旬に発行される)

*実施要項の発行、入試の日程等は、本校HPで確認できます。

専攻別検査3年度実施例(参考) 内容は変更されることがあるので注意!

募集人員 40名 専攻別定員は設けない

1. ピアノ専攻志望者

- (ア) ピアノソナタ(第1楽章又は終楽章)作曲者の限定はしない
- (イ) 練習曲 チェルニー 40番 CZERNY Kunst der Fingerfertigkeit Op.299
チェルニー 50番 CZERNY Kunst der Fingerfertigkeit Op.740
クラマー=ビューロー 60の練習曲
CRAMER=BÜLOW 60 ausgewählte Etüden
モシュコフスキー 15の練習曲
MOSZKOWSKI 15 Études de Virtuosité Op.72
上記(ア)、(イ)について、それぞれ任意の1曲を暗譜演奏する。 **一般選抜** **推薦選抜**
- (ウ) J.S. バッハ 平均律クラヴィーア曲集より フーガ **推薦選抜**
J.S.BACH Das Wohltemperierte Klavier (Fuga) 任意の1曲を暗譜演奏する。

2. 声楽専攻志望者

- (ア) コンコーネ 50番 **一般選抜** **推薦選抜**
CONCONE 50 Lessons Op.9
任意の1曲を母音唱で暗譜演奏する。(高声用と中声用のいずれでもよい)
- (イ) 任意の独唱曲1曲を暗譜演奏する。 **一般選抜** **推薦選抜**
- (ウ) 任意のピアノ曲1曲を演奏する。 **推薦選抜**

3. 弦・管・打楽器専攻志望者

- (ア) 任意の独奏曲1曲を暗譜演奏する。 **一般選抜** **推薦選抜**
 - (イ) 音階又は基礎打ち **推薦選抜**
音階については、譜面上 #、b それぞれ2つまでの長短調を課題とし、当該高等学校長が定める特別検査(音楽科)実施要項による。
 - (ウ) 任意のピアノ曲1曲を演奏する。 **推薦選抜**
- *注1...弦・管楽器については、通常オーケストラに使用する楽器に限定する。打楽器については、小太鼓又は、マリンバに限定する。

聴音及び新曲視唱 **一般選抜** **推薦選抜**

旋律聴音、和声聴音(四声体による)及び新曲視唱を行う。

一般選抜、推薦選抜ともに、同一の検査内容とする。

その他に、学力試験、面接が実施される。詳しくは愛知県教育委員会のHPを参照のこと。

専攻別生徒数

	声楽		鍵盤楽器		弦楽器		管打楽器		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
1年	0	5	4	20	0	1	0	10	4	36	40
2年	0	3	2	25	0	0	1	5	3	33	36
3年	0	5	1	20	1	3	1	8	3	36	39
合計	0	13	7	65	1	4	2	23	10	105	115
	13		72		5		25				

施設・設備

第1演奏室、第2演奏室、オーディオ理論室、普通音楽室、資料室、楽器庫、レッスン室(14)、ピアノ練習室(15)、アンサンブル練習室(1)、コンサートグランドピアノ(スタインウェイ)(4)、グランドピアノ(36)、アップライトピアノ(8)、パイプオルガン練習用電子オルガン、フレンチダブルマニユアルハーブシコード(アトリエ・フォン・ナーゲル社製)、合奏弦楽器一式、ソルフェージュ用キーボード(21)、コンサートマリンバ(2)、ティンパニ、その他打楽器、箏(4)

音楽科教員

校長 木村 誠

音楽科担当教職員

●専任



主任/声楽
谷津理恵子



ピアノ
高橋 知子



音楽学
齋藤 大輔



サクソフォン
堀江 裕介



声楽
吉田早千穂

●非常勤講師

ピアノ	伊藤 美江 梅田 智也 尾関 佳奈 児玉 典子 清水 皇樹 関本 昌平 都築 美佳 中根 浩晶 丹羽つね子 廣澤 純子 松本 和将	岩野めぐみ 奥村 真 兼松 千里 清水 敦子 鈴木真貴子 柘植 暁子 戸谷 誠子 西 典代 長谷川 淳 広野 和子 宮田 俊雄	指揮 ヴァイオリン	塚田 隆雄 市川絵理子 西村 洋美 横田真規子 石橋 隆弘 榊原 利修 神田 豊壽 石橋 隆弘 榊原 利修 大西 圭子 迎見 亜矢 寺島 陽介 橋本 眞介 片田 景子 宮本 弦	加藤 瑞木 野田 枝里	打楽器 箏 ソルフェージュ	和泉 正憲 大久保智子 奥村百合名 櫻井ゆかり 田島知佐子 福井 友香 栗本 洋子 河野 恭子 鈴木 美香 シュミツ・エルケ ブドック・アナスタージャ	杏名 大地 河野 恭子 鈴木 真衣 柘植 暁子 櫻井ゆかり 西尾 洋 中根 國夫 イタリヤ語
-----	---	---	--------------	--	----------------	---------------------	---	---

最近の大学入試合格者数状況

大学名	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
東京芸術大学	5	2	6	4	4	4
愛知県立芸術大学	15	9	16	8	9	14
京都市立芸術大学	0	0	0	0	0	1
その他の国公立大学	1	0	0	0	2	1
桐朋学園大学	4	5	6	5	4	7
東京音楽大学	5	10	6	9	1	5
フェリス女学院大学	1	0	0	0	0	0
国立音楽大学	2	2	0	3	2	3
武蔵野音楽大学	0	1	0	0	0	1
名古屋音楽大学	9	11	10	9	10	9
名古屋芸術大学	0	3	0	3	2	3
金城学院大学	8	4	13	8	10	8
その他	3	3	4	4	4	7
海外留学	0	0	2	2	0	0